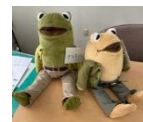


52 学び続ける 4

前回の重点研からやや時間をおきましたが、本日、国語科学習、家庭科学習の授業研究会を行いました。

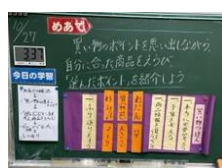


国語科はアーノルド＝ノーベル作の「お手紙」。
国語学習では非常に有名な作品で、心温まる物語です。音読劇を一つのゴールとして、登場人物の2人の



心の交流を書かれている文章からイメージをもち、それを読みに反映させていくというなかなかハードルの高い学習でしたが、子どもたちは行動から気持ちを探っていました。

家庭科は生活を支えるお金と物という学習で、消費者教育の一つです。買い物をするとき



に何を基準としながら品選びをするのか、自分なりの視点を持つことの大切さを、学びました。ロイロノートの使い方も随分と板についてきていました。

2つの授業とも、目ざすのは「すすんで表現し、お互いの考えを伝えあう楽しさを実感し、よりよい生き方を求める子」の育成です。講師でお越しいただいた海老原校長先生（国語講師）、水野指導主事（家庭科）からご指導をいただきながら、成果と課題を確認し、次回へとつなげました。

日々学ぶことは、教師も子どもと同じです。授業力を向上させ「できた」「わかった」「たのしかった」という時間をつくるために頑張っています。

